

校長通信 6 月号

梅雨に入り、大雨の心配をする季節になりました。

5 月 31 日には東海地区盲学校のフロアバレーボール大会がエコパアリーナであり参加しました。どの試合も接戦でしたが、3 位決定戦で惜しくも敗れてしまいました。全国大会への切符を手にすることはできませんでしたが、チーム力は昨年よりも確実にレベルが上がっていると思いました。

それから、6 月 5 日には校内弁論大会がありました。自分の思いを文章にし、聞き手に思いが伝わるよう声の大きさや話し方を工夫し、発表するものです。自分の経験がテーマであることが多いので、涙なくして聞くことができません。

どちらの大会も、全国大会出場を目指して生徒たちが頑張っています。全国大会に手が届く立ち位置にあって努力できるのは、この学校にしかない貴重な経験です。手が届くと言っても、日々の努力は他の学校の生徒たちと何も変わりません。目標に向かって努力をする過程が大事だといいますが、やはり負けることはとても悔しく涙が自然とあふれてきます。この涙は、将来よりよく生きていくための糧にきつとなると信じています。

「昇降口前のアジサイ」



「中庭のツリガネソウ」

